

高齢者の生活と健康に関する調査
高齢期の生活と健康に関する意識調査

報 告 書

はじめに

我が国では世界でも例を見ない速さで長寿化が進んでおり、今後、人口規模の大きな「戦後のベビーブーム世代」、いわゆる「団塊の世代」が高齢期を迎え、更に急速に長寿化が進行してまいります。本市におきましても、団塊の世代が高齢者になりきる平成26年には、高齢化率は25.9%となり、4人に1人以上が高齢者になると予測されております。

このような中で、高齢者の介護については、社会全体で支えていくべき課題であるとして、平成12年度に介護保険制度が創設され、平成18年度には、予防重視型システムへの転換、在宅生活を支える新たなサービス体系の確立等、住み慣れた地域で自立した生活が続けられるよう「介護予防」に力を入れる取組が加わるなど、制度全体に関する見直しが図られました。

本市におきましては、高齢者の保健福祉施策を計画的に進めていくため、平成18年3月に「高齢者一人ひとりが、自らの意思に基づき、住み慣れた地域でいきいきと健やかに暮らせる社会の構築」を基本理念とする「第3期京都市民長寿すこやかプラン(京都市高齢者保健福祉計画・京都市介護保険事業計画)」を策定し、このプランに基づき、鋭意取組を進めているところでございます。

今回の「高齢者の生活と健康に関する調査、高齢期の生活と健康に関する意識調査」は、本市にお住まいの高齢者等の保健福祉に関するニーズ・意識や介護保険サービスに関する利用意向などの基礎データを得ることを目的として実施致しました。

この調査結果を、現在検討を進めております第4期京都市民長寿すこやかプランを策定するための基礎資料として活用し、高齢者の方々が健康で安心して暮らすことのできる長寿社会の実現に向けた政策に反映させていきたいと考えております。

また、この報告書を、関係機関、団体等をはじめ、市民の皆様にも広く御活用いただき、より良い長寿社会を築いていくための活動の一助となれば幸いに存じます。

最後になりましたが、今回の調査に御協力をいただきました市民の皆様をはじめ、本調査に御尽力いただきました多くの方に、心から感謝を申し上げます。

平成21年2月

京都市保健福祉局長 浅野 義孝

目 次

第1章 調査の概要.....	1
1 調査目的.....	1
2 調査の種別と調査対象.....	1
3 調査内容.....	1
4 調査期間.....	2
5 調査方法.....	2
6 回収結果.....	2
7 報告書の見方.....	2
第2章 高齢者一般調査.....	5
1 対象者についての基本的事項.....	5
2 身体・生活の状況について.....	13
3 介護予防と介護のあり方について.....	42
4 介護保険制度について.....	54
5 自由意見.....	61
第3章 居宅サービス利用者調査.....	63
1 対象者についての基本的事項.....	63
2 身体・生活の状況について.....	74
3 介護保険サービスの利用状況.....	91
4 介護予防と介護のあり方について.....	105
5 介護保険制度について.....	116
6 在宅介護の状況について.....	123
7 自由意見.....	128
第4章 居宅サービス未利用者調査.....	131
1 対象者についての基本的事項.....	131
2 身体・生活の状況について.....	141
3 介護保険サービスの利用状況.....	157
4 介護予防と介護のあり方について.....	169
5 介護保険制度について.....	180
6 在宅介護の状況について.....	187
7 自由意見.....	191

第5章 若年者調査.....	193
1 対象者についての基本的事項.....	193
2 身体・生活の状況について.....	200
3 介護予防と介護のあり方について.....	222
4 介護保険制度について.....	233
5 自由意見.....	238
調査票見本.....	241
A 高齢者一般調査.....	241
B・C共通 居宅サービス利用者調査・居宅サービス未利用者調査.....	251
D 若年者調査.....	265